

10/11台風19号による宮ヶ瀬ダム稼働状況について

宮ヶ瀬ダムに流入する中津川等の洪水の一部をダムに貯留して、ダム下流の中津川の水位を低下させました。

令和1年10月12日 20時20分

速報値

1. 宮ヶ瀬ダムの洪水操作状況

①宮ヶ瀬ダムへの流入量	毎秒	1,880	立方メートル
②宮ヶ瀬ダムからの放流量	毎秒	105	立方メートル
③宮ヶ瀬ダムの貯留量（1秒あたり）	毎秒	1,775	立方メートル

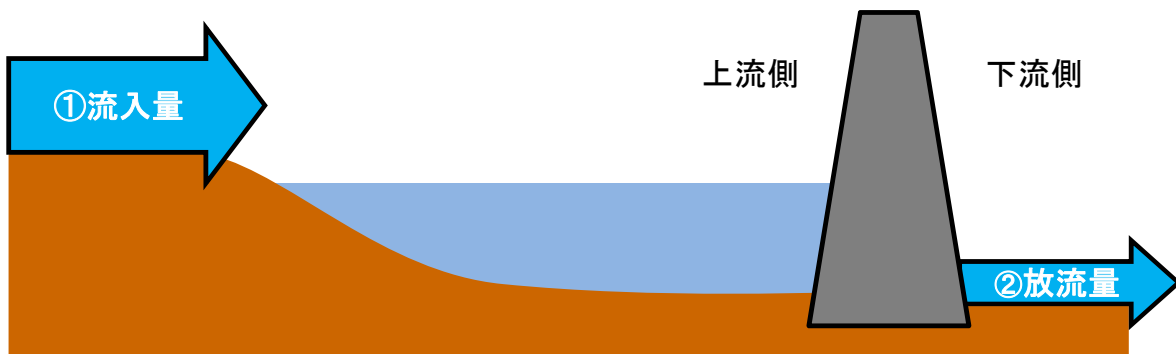


図1 宮ヶ瀬ダムの状況

2. 宮ヶ瀬ダムにより想定されるダム下流水位の低減

宮ヶ瀬ダムで貯留することにより、ダム下流の才戸橋地点の現在水位は、ダムが無いと仮定した場合の水位と比較して、2.11m水位が低下していると想定されます。

※「ダムが無いと仮定した場合の水位」は、当該時刻のダム地点の貯留量をダム下流の中津川才戸橋地点の水位低減量に換算しています。

はん濫危険水位	2.60m
避難判断水位	2.30m
はん濫注意水位	2.20m
水防団待機水位	1.70m

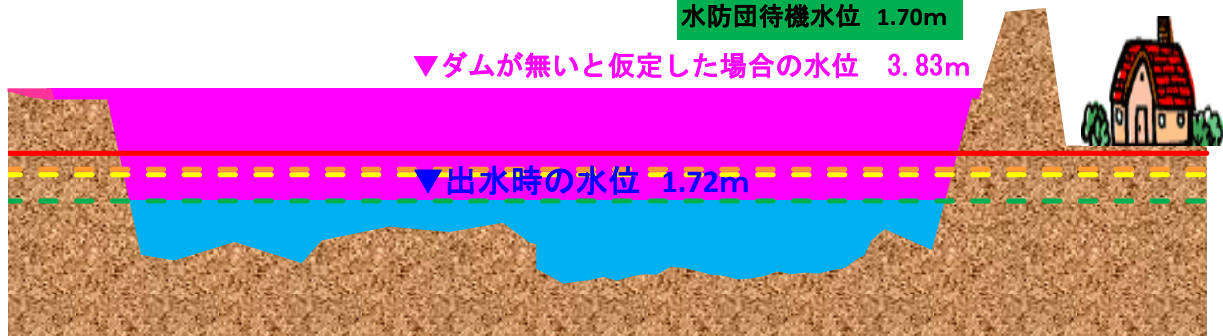


図2 宮ヶ瀬ダムにより想定される水位の低減（才戸橋地点）

※図1、図2はダム等の状況を説明するため模式的に表現したものであり、実際の状況とは異なります。